

くらしの実態を質問と提案に生かし、世論と運動で要求実現!

105歳で亡くなった母の言葉、「世のため人のため頑張れ」を原点に、日本共産党員として46年間、住民の苦難解決に活動。

今、大切なこと

現場の声を集め、緊急コロナ対策をくり返し要望

「自粛・休業要請と補償はセット」で支援拡充へ

とくとめ道信は、都民の実態を聞き取り、都知事に緊急要請や質問をくり返し、特に「自粛・休業要請と補償はセット」の立場で、各分野の「協力金給付制度」を実現しました。



医療崩壊ストップへ

PCR検査と医療体制の強化要求

PCR検査の抜本的拡充と、医療体制の強化に都・国の財政支援を求めて、都議会でも厳しく要求。

私は、さらにPCR検査センターの拡充などを求めます。

「ハッピーロード大山」商店街分断の道路計画、撤回!

東京都は、ハッピーロード大山商店街を分断・破壊し、1m5千万円もかかる特定整備路線補助第26号道路建設を住民の反対の声を聞かずに強行しています。

板橋区も、東京都の計画と一体に、大山駅前広場や大規模再開発などを住民の声を聞かずに推進しています。私は、計画の撤回を求めて頑張ります。



いのち・健康・くらし・営業優先の都政に転換を
コロナ危機の時だからこそ、

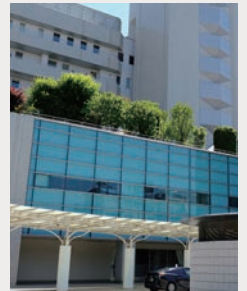
今こそやめるべき!!

STOP!

「都立病院」のリストラ

コロナ感染拡大の中で、都立病院・公社病院の医療関係者は感染拡大防止に必死です。一方で小池都知事は、「独立行政法人化」の名で都立・公社病院への財政支援を削り、いのちを守る都立病院・公社病院の役割を後退させようとしています。

私は、コロナ危機を体験した都民にとって、不可欠な、都立病院の拡充に全力をあげます。



「危険な低空飛行」



小池都知事は、住民の反対の声を無視し、巨大旅客機の羽田新ルートに賛成。低空飛行は、板橋区上空でもルート周辺の騒音、落下事故の不安の声を広げています。コロナ危機の中で飛行が激減した、羽田新ルートは中止を求めます。

「カジノ」誘致

小池都知事が誘致をめざす「カジノ」は、刑法が禁止している賭博(とばく)です。小池都知事は、「カジノ」は「メリット」も「デメリット」もあり、検討すると答弁。しかし、人の不幸を金もうけに利用する「カジノ」は、撤回しかありません。私は、コロナ感染でくらしが、困難の時こそ、都民のくらし・雇用・営業支援のために力を尽くします。